



2020年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月13日

上場会社名 クロスプラス株式会社
 コード番号 3320 URL <https://www.crossplus.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 大寛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 西垣 正孝
 四半期報告書提出予定日 2019年9月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東名

TEL 052-532-2211
 配当支払開始予定日 2019年10月24日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年1月期第2四半期の連結業績(2019年2月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	27,748	3.8	24		125		121	
2019年1月期第2四半期	28,853	1.4	312		203		226	

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 145百万円 (%) 2019年1月期第2四半期 94百万円 (35.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	16.63	16.58
2019年1月期第2四半期	30.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	23,477	11,617	49.4
2019年1月期	27,920	11,781	42.1

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 11,604百万円 2019年1月期 11,762百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期		3.00		3.00	6.00
2020年1月期		5.00			
2020年1月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	1.4	300		400	67.8	350	8.1	47.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期2Q	7,718,800 株	2019年1月期	7,718,800 株
期末自己株式数	2020年1月期2Q	386,761 株	2019年1月期	398,661 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期2Q	7,328,149 株	2019年1月期2Q	7,318,430 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年2月1日～2019年7月31日)におけるわが国経済は、景気は全体として緩やかな回復基調を続けておりますが、米中貿易摩擦の深刻化や欧州の政治・経済の不安定化等の影響で、先行きは依然として不透明な状況となりました。

当アパレル業界では、全体としてファッション関連の販売は、生活必需品の値上や天候不順などを受け、消費者の節約志向は依然として根強く、厳しい事業環境が続きました。

このような事業環境の中、当社グループは、中期経営計画の基本方針として、アパレル事業の創る力をベースに業態・機能を掛け合わせることで、新業態の確立、アパレルの機能強化、事業領域の拡大を推進しております。

売上高は、事業領域の拡大として昨年9月に帽子アイテムを中心に卸売販売する株式会社中初をM&Aしたことや、専門店向け、EC向けの販売を増やす一方で、前期末に子会社のスタイリンク株式会社を解散したことや6月以降の低温などの天候不順による影響により減少となりました。

利益面ではアパレル卸売において、各販売チャネルにおける採算性の見直しや主力工場への生産集約、アセアン工場へのシフトによる原価低減に努めました。また、アパレル小売では今期よりEC専用の新ブランド「N.O.R.C」(ノーク)を立ち上げる等、消費者への直接販売が拡大したことで、売上高総利益率が前年から2.3ポイント改善しました。経費はEC関連のシステム投資や販売促進費用の増加により売上高販管費率は前年から1.2ポイント上昇しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、277億48百万円(前年同期比3.8%減)、営業利益は、24百万円(前年同期は3億12百万円の営業損失)、経常利益は、1億25百万円(前年同期は2億3百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益1億10百万円の計上等により1億21百万円(前年同期は2億26百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

なお、当社グループは、衣料品事業の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、セグメント情報の記載を省略しております。

販売チャネル別の売上高は、以下のとおりです。

区 分	金額(百万円)	前年同期比(%)
専 門 店	12,930	+2.7
量 販 店	10,241	△8.1
無 店 舗	2,663	△17.7
百 貨 店 他	1,367	△8.0
E C	416	+99.7
そ の 他	129	△28.3
合 計	27,748	△3.8

(注) 当期より表記の見直しを行い、旧区分「専門店」「量販店」「無店舗」「その他卸売」「小売」「その他」「消去」から、新区分「専門店」「量販店」「無店舗」「百貨店他」「EC」「その他」に変更しております。なお、前年同期比は新区分による同水準比較としております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は234億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ44億42百万円の減少となりました。

流動資産は147億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億90百万円の減少となりました。流動資産の減少の主な要因は、売上債権が27億14百万円減少し、現金及び預金が8億59百万円減少したこと等によります。

固定資産は86億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億50百万円の減少となりました。固定資産の減少の主な要因は、投資有価証券が5億29百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は118億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ42億78百万円の減少となりました。

流動負債は96億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ36億66百万円の減少となりました。流動負債の減少の主な要因は、仕入債務が20億41百万円減少し、短期借入金が11億57百万円減少したこと等によります。

固定負債は22億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億11百万円の減少となりました。固定負債の減少の主な要因は、その他の固定負債が2億92百万円減少し、長期借入金が2億47百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は116億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億64百万円の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金が94百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が3億39百万円減少したこと等によります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ8億48百万円減少し、31億15百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、5億51百万円の収入(前年同期は1億95百万円の支出)となりました。これは、仕入債務の減少が20億41百万円(前年同期は23億78百万円の減少)となったものの、売上債権の減少が27億12百万円(前年同期は25億67百万円の減少)となったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1億42百万円の収入(前年同期は1億50百万円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出が28百万円(前年同期は48百万円)となったものの、投資有価証券の売却による収入が2億45百万円(前年同期は0百万円)となったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、15億34百万円の支出(前年同期は3億61百万円の支出)となりました。これは、短期借入金の減少が11億57百万円(前年同期は短期借入金の増加が27百万円)、長期借入金の返済による支出が3億49百万円(前年同期は3億62百万円)となったこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年1月期通期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2019年3月15日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細は2019年9月13日に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,226	3,366
受取手形及び売掛金	10,326	7,356
電子記録債権	1,496	1,752
商品	2,173	1,906
貯蔵品	30	25
その他	444	397
貸倒引当金	△20	△18
流動資産合計	18,677	14,787
固定資産		
有形固定資産	4,171	4,124
無形固定資産		
のれん	328	289
その他	149	148
無形固定資産合計	478	438
投資その他の資産		
投資有価証券	4,051	3,521
その他	524	590
投資その他の資産合計	4,576	4,112
固定資産合計	9,225	8,675
繰延資産		
開業費	17	14
繰延資産合計	17	14
資産合計	27,920	23,477
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,147	3,076
電子記録債務	4,635	3,663
短期借入金	2,157	1,000
1年内返済予定の長期借入金	630	528
未払法人税等	117	41
賞与引当金	93	103
返品調整引当金	43	42
その他	1,499	1,199
流動負債合計	13,322	9,655
固定負債		
長期借入金	1,118	870
退職給付に係る負債	950	879
その他	746	453
固定負債合計	2,815	2,204
負債合計	16,138	11,860

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,944	1,944
資本剰余金	2,007	2,007
利益剰余金	7,203	7,297
自己株式	△528	△513
株主資本合計	10,626	10,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,278	938
繰延ヘッジ損益	△126	△49
為替換算調整勘定	24	12
退職給付に係る調整累計額	△40	△33
その他の包括利益累計額合計	1,135	868
新株予約権	19	12
純資産合計	11,781	11,617
負債純資産合計	27,920	23,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	28,853	27,748
売上原価	23,323	21,762
売上総利益	5,530	5,985
返品調整引当金戻入額	50	42
返品調整引当金繰入額	29	42
差引売上総利益	5,550	5,986
販売費及び一般管理費	5,862	5,961
営業利益又は営業損失(△)	△312	24
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	52	52
受取家賃	72	71
その他	27	10
営業外収益合計	155	137
営業外費用		
支払利息	16	10
貸貸収入原価	23	22
その他	6	2
営業外費用合計	46	36
経常利益又は経常損失(△)	△203	125
特別利益		
固定資産売却益	2	—
投資有価証券売却益	—	110
その他	—	1
特別利益合計	2	112
特別損失		
固定資産売却損	0	—
品質関連対応費用	46	—
事業整理損	2	1
その他	16	0
特別損失合計	66	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△267	236
法人税、住民税及び事業税	11	16
法人税等調整額	△51	97
法人税等合計	△40	114
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△226	121
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△226	121

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△226	121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16	△339
繰延ヘッジ損益	343	77
為替換算調整勘定	△15	△12
退職給付に係る調整額	10	6
その他の包括利益合計	321	△267
四半期包括利益	94	△145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94	△145
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△267	236
減価償却費	93	99
のれん償却額	20	38
受取利息及び受取配当金	△55	△55
支払利息	16	10
投資有価証券売却損益(△は益)	1	△110
売上債権の増減額(△は増加)	2,567	2,712
たな卸資産の増減額(△は増加)	243	270
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,378	△2,041
その他	△415	△562
小計	△172	597
利息及び配当金の受取額	53	53
利息の支払額	△16	△10
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△60	△88
営業活動によるキャッシュ・フロー	△195	551
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48	△28
投資有価証券の売却による収入	0	245
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	233	-
その他	△34	△73
投資活動によるキャッシュ・フロー	150	142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	27	△1,157
長期借入金の返済による支出	△362	△349
配当金の支払額	△21	△22
その他	△5	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△361	△1,534
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	△9
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△416	△848
現金及び現金同等物の期首残高	4,009	3,964
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,592	3,115

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。